Pressio

新聞広告自動搬送昇降機

ACT-UPⅣ

※本説明書は左仕様、右仕様共通の説明書となっております。
本書に記載している図は一部を除いて右仕様のものとなっております。
左仕様の場合は左右が逆になりますのでご了承ください。

取扱説明書

※取扱説明書は安全上のご注意・機能・操作・お手入れの方法等、本製品をご使用いただく際に必要となる情報を説明しています。
ご使用の前に必ずよくお読みのうえ正しくお使いください。
特に「安全上の注意」（3ページ）は、ご使用前に必ずお読み頂き、安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでもご覧になれるところに大切に保管して下さい。

もくじ

《はじめに》
安全上のご注意（必ずお守り下さい）　・・・・・・　P.3
本体と付属品の確認・・・・・・・・・・・・・・・・　P.4
《設置》
設置上の注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　P.5
《運転・設定》
各部の名称とはたらき・・・・・・・・・・・・・・　P.6
スイッチの表示と機能・・・・・・・・・・・・・・・　P.7
ホッパー調整ダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・　P.8
チラシ押え部品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　P.8
単位部数で連続動作させたい場合・・・・・・・・・・　P.9
《トラブル時の対処》
対処方法・・・・・・・・・・・・・・・　P.10
《仕様》
仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　P.10
サービス拠点一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・　P.11
《納品時設置方法》
アクトアップの接続方法・・・・・・・・・・・・・　P.12
光通信基板の取付、接続手順について（左仕様）・・・　P.13
《動作設定変更方法》
メイン基板設定方法・・・・・・・・・・・・・・・　P.14

安全上のご注意　～必ずお守り下さい～

ご使用になる人や周囲の人への危害、財産への損害を防止するため、お守りいただくことを説明しています。よくお読みの上正しくご使用下さい。

★誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度によって次のような分類で表示しています。

⚠ 警告	**取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度。**
⚠ 注意	**取扱を誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度。**

★お守りいただく内容の種類を次の区分で表示しています。

	製品の取扱において、その行為を禁止する表示。
	製品の取扱において、発火、破裂、高温などに対する注意を喚起するための表示。
	製品の取扱において、指示に基づく行為を強制する表示。

⚠ 警告

★分解、修理、改造しない

分解禁止

火災、感電の原因になります。修理は弊社担当員にご相談ください。

★ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

★定格を超える配線器具を用いない

禁止

たこ足配線などで定格を超えると、火災の原因になります。

★電源コード、電源プラグは無理に引っ張ったり傷つけたりしない

禁止

火災、感電の原因になります。

★本体内部にクリップや紙くずなど、規定の包装物以外を入れない

禁止

火災、感電の原因になります。

★煙、異臭が出たときや、破損したときは使用しない。

禁止

火災、感電の原因になります。

⚠ 注意

★水平でない場所や不安定な場所では使用しない

禁止

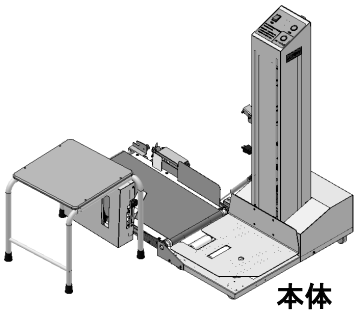
★お手入れの際や長時間使用しないときは電源プラグを抜く

禁止

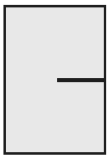
感電、ショート、火災の原因となることがあります。

本体と付属品・添付品の確認

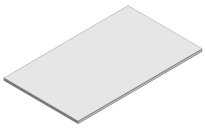
本体と付属品。添付品を確認して下さい。万一不備な点がございましたら、
弊社又は弊社販売代理店へお申し付け下さい。



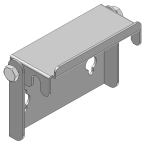
本体



取扱説明書

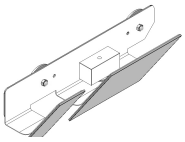


製品カバー



連結金具
M6×12 ﾈｼﾞ 2個

通信基板



チラシ押え部品

踏み台

《添付品》
取扱説明書（本紙）・・・ 1冊
製品カバー・・・・・・・・1枚
連結金具・・・・・・・・・1個
通信基板・・・・・・・・・1個
チラシ押え部品・・・・・1個
踏み台・・・・・・・・・・1台

《左仕様専用部品》左仕様の場合は上記添付品に追加となります
配線止め・・・・・・・・・4個
ｱｸﾄｱｯﾌﾟ用ﾊｰﾈｽ・・・・・2.5m

配線止め　4個

ｱｸﾄｱｯﾌﾟ用ﾊｰﾈｽ
（左仕様）

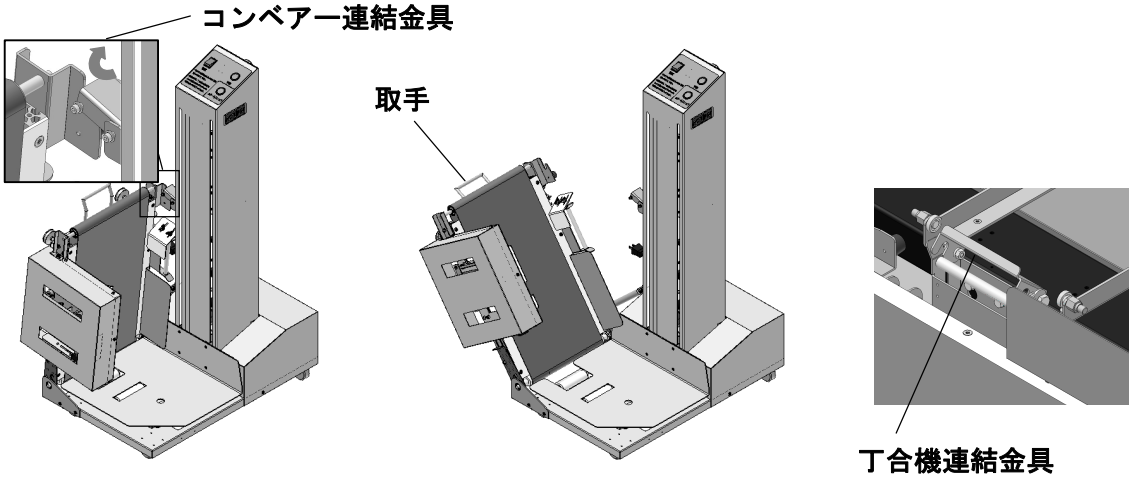
本書の表記について

本書では、お客様に効率よくご使用いただくために、大切な情報を次のマーク
で表わしています。

●お願い●	：操作上、お守りいただきたい重要事項や、禁止事項が書かれています。
○お知らせ○	：操作の参考となることや、補足説明が書かれています。
《➜○○ﾍﾟｰｼﾞ》	：ご覧頂きたい参照ﾍﾟｰｼﾞまたは説明書などを記述しています。

《設置》

設置上の注意



［手順］

1,コンベアー連結金具を持上げてロックを解除して下さい。

2,必ず取手を持ってコンベアーを広げて下さい。

3,丁合機連結金具を押し下げて丁合機に本機を固定して下さい。

［収納時は逆順で行って下さい］

●お願い●

・水平なところに設置して下さい。

転倒、誤動作の原因になります。

・　収納時に移動させるときは転倒させないように注意して下さい。

転倒注意

・直射日光のあたるところや冷暖房器の近くには設置しないで下さい。

35℃以上、5℃以下になるところでは、誤動作、変形、故障の原因になります。

・水のかからないところに設置して下さい。

故障の原因になります。

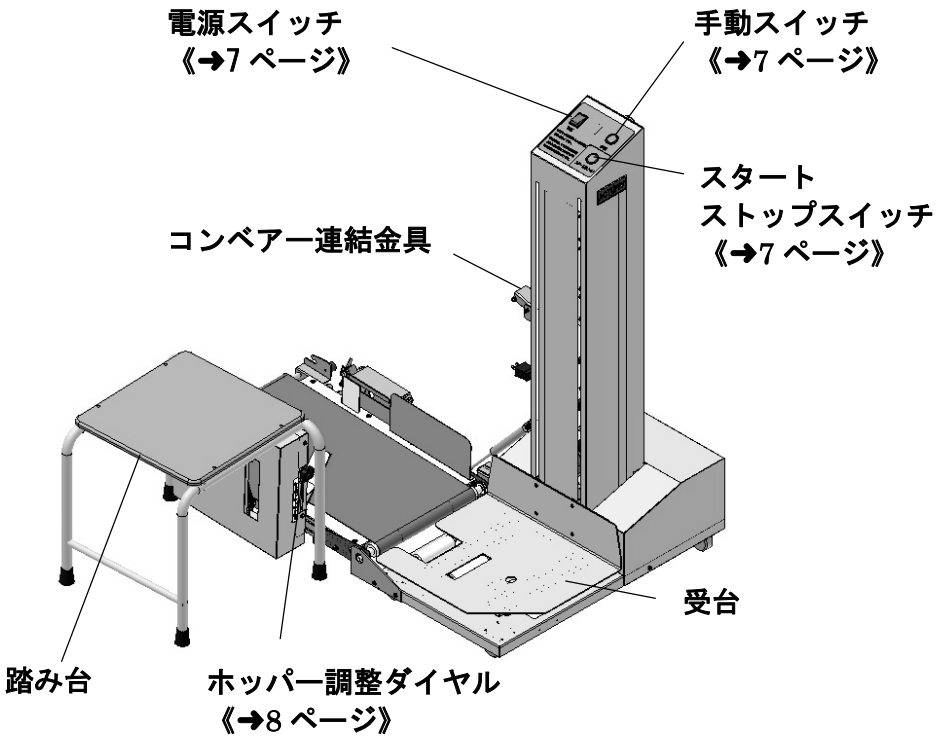
・電源プラグは確実に差込み、アース線を必ず取付けて下さい。

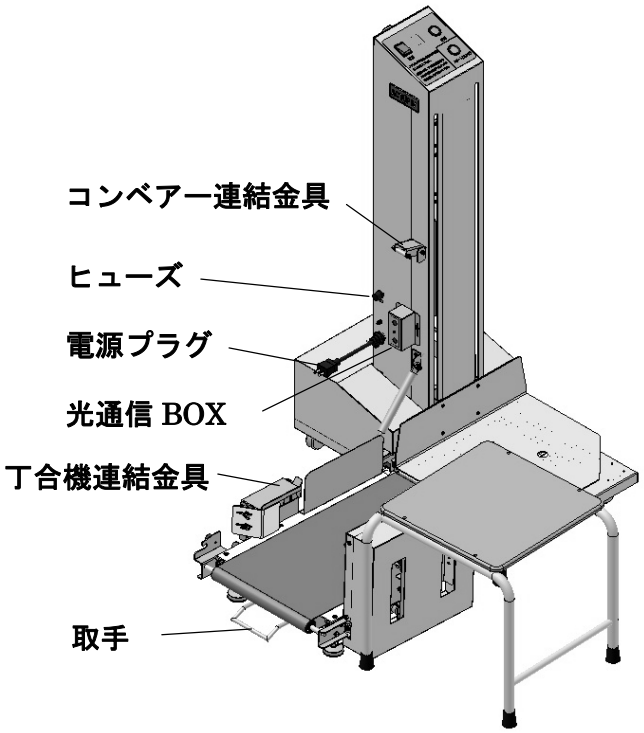
事故を防止するためです。

《運転》

各部の名称とはたらき

1,本体

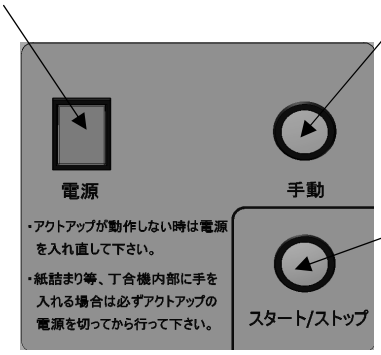




スイッチの表示と機能

電源　スイッチ

機械の電源を入り切りする時に使用します。
　電源ＯＮ・・・点灯
　電源ＯＦＦ・・消灯



手動　スイッチ

コンベアー上のチラシを
上昇させる場合に使用します。
（丁合機動作中は使用できません）

スタート／ストップスイッチ

丁合機を動作及び停止させる
場合に使用します
　　丁合機動作時・・・点灯
　　丁合機停止時・・・消灯
　　通信異常時・・・・点滅

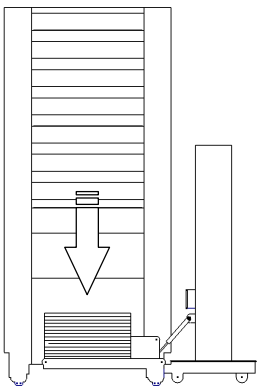
基本動作

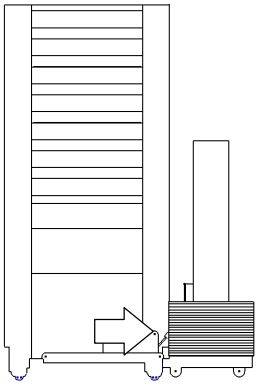
1,電源スイッチを ON にして下さい。（スイッチの緑色ランプが点灯します。）

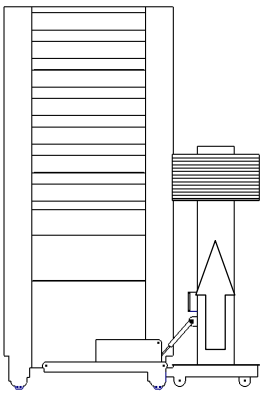
2,スタート/ストップスイッチが消灯していることを確認して下さい。

3,丁合機側のスタートスイッチ、又はアクトアップのスタート/ストップスイッチを押して丁合を開始して下さい。

4,丁合機が停止、ミス停止、ホッパー満載状態になった時にアクトアップは自動的に動作します。







丁合機でセットされたチラシはコンベアー上にストックされます。

《丁合機が停止、ミス停止時》
丁合機停止後、チラシがコンベアーからリフターに搬送されます。

《ホッパー満載時》
丁合機が一時的にカラ回しになりチラシがリフターに搬送されると丁合機が自動的にセットし始めます。

チラシは腰の高さまで

自動的に上昇します。

ホッパー調整ダイヤル

《EX 丁合機と接続時のみ使用可能です》

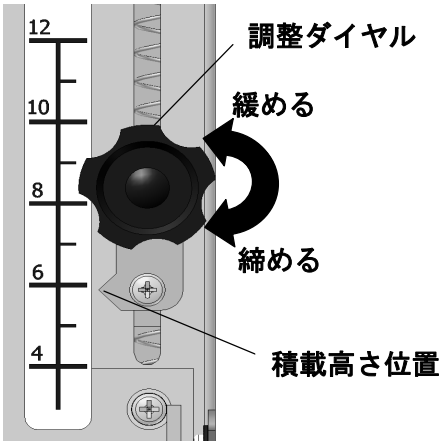
アクトアップ側でチラシ積載高さを設定できます。

注意！《ZS シリーズ丁合機に接続の場合は使用できません。》

ZS 丁合機接続時は丁合作業の邪魔になる場合がある為、ダイヤルを必ず 12 の位置で固定して下さい。

[使用方法]

1,調整ダイヤルを緩めて
目盛を参考に位置を合わせて
ダイヤルをしっかり締めて下さい。



〇お知らせ〇
コンベアー搬送時にチラシが崩れる時は
低めに設定することをお勧めします。

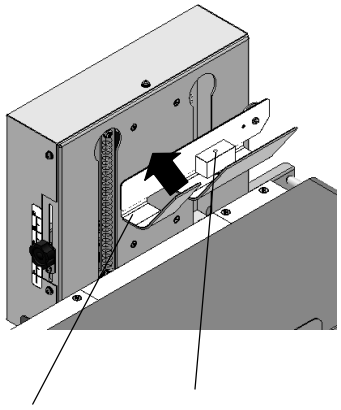
チラシ押え部品

[使用方法]

セットチラシがコンベアー上で跳ね返る場合。
折紙が積載時に折れ曲がる場合。

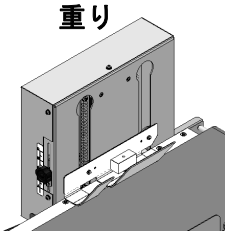
[取付手順]

1,コンベアー上部切欠きより
チラシ押え部品をはめ込んで下さい。
2 必要に応じて重りを追加して下さい。
（チラシ押え部品を使用しても跳ね返る時）



[取り外し手順]

① コンベアー上部切欠きより取り外して
下さい。



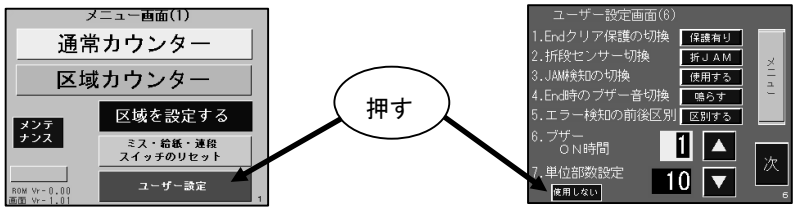
単位部数で連続動作させたい場合

・ 単位部数設定は通常（又は区域）カンンターで設定されている数値とは
別に、積載する部数で丁合を一旦区切って搬送する機能です。
コンベアー上に設定された部数が積載されると丁合機が一時的にカラ回し
になりチラシがリフターに搬送されると丁合機が自動でセットし始めます。

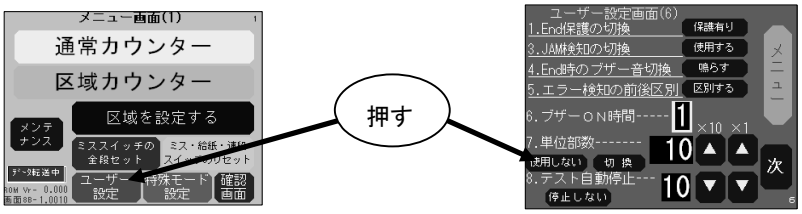
[操作手順]

1,丁合機メニュー画面のユーザー設定を押し、単位部数を 使用する に変更して下さい。

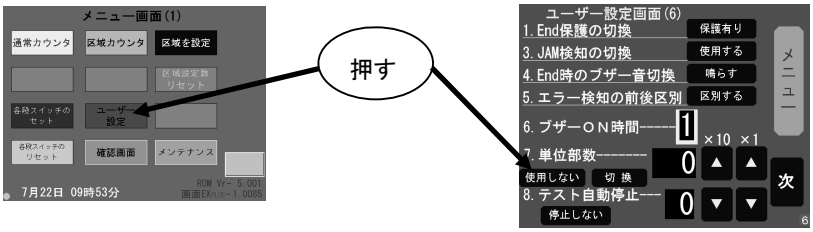
ZS シリーズの場合



EX シリーズの場合



EXplus シリーズの場合



10 を押してから ▲ を１回押すと+１０
▼ を１回押すと－１０

▲ を１回押すと+1
▼ を１回押すと－1 します

設定上の注意

設定数が終了した場合は、積載された数が単位部数に達していなくても停止します。
設定数はホッパー満載が働く手前になる様に設定して下さい。
ホッパー満載になっても設定数が残っている場合は、一旦満載で休止しリフターへ
搬送した後、残りのセットが出てきて停止します。

《トラブル時の対処》

現　象	原　因	対処方法
電源が入らない。	電源コード差込み不良。	差込みを確認して下さい。
	電源コードの断線。	弊社担当員に連絡して下さい。
	ヒューズ切れ。(5A)	弊社担当員に連絡して下さい。
全く動かない。	動作途中で機械が止まっていませんか？	電源スイッチを入れ直して下さい。
	コンベアーを折り畳んでいませんか？	コンベアーを水平に広げて下さい。
スタートストップスイッチが点滅する。	丁合機の電源が入っていない。	丁合機の電源を入れて下さい。
	丁合機とアクトアップの接続位置がずれている。	接続位置を確認して下さい。
コンベアー動作後、 受台が上昇しない。	受台センサー検知異常	弊社担当員に連絡して下さい。
丁合機画面に「ＡＵＰ満載異常」と表示される。	アクトアップホッパー満載調整ダイヤル部の異常	丁合機　ユーザー設定を押して満載検知を丁合機に設定して使用して下さい。 弊社担当員に連絡して下さい。
丁合機画面に「ＡＵＰ搬送異常」と表示される。	丁合機満載後のコンベアー搬送異常	コンベアー上のチラシを取り除いて下さい。

《仕様》

製品名	アクトアップⅣ
最大積載量	15 kg　　（最大積載高さ 120 ㎜）
外形寸法（右仕様）	幅 450 ㎜×奥行 720 ㎜×高さ 1046 ㎜ 収納時 幅 980 ㎜×奥行 720 ㎜×高さ 1046 ㎜ 使用時
外形寸法（左仕様）	幅 450 ㎜×奥行 720 ㎜×高さ 1046 ㎜ 収納時 幅 1050 ㎜×奥行 720 ㎜×高さ 1046 ㎜ 使用時
電源	AC100V±10%　　50／60Hz
電流	最大 1.8A
消費電力	定格値　　200W　　待機値　　25W（参考値）
質量	55 kg

付属品

取扱説明書	1 冊	通信基板	1 個
製品カバー	1 個	踏み台	1 個
連結金具+M6×16 ﾈｼﾞ (2 個)	1 個	チラシ押え部品	1 個
配線止め（左仕様のみ）	4 個	ｱｸﾄｱｯﾌﾟ用ﾊｰﾈｽ（左仕様のみ）	2.5m

仕様及び外観は、改良の為予告なく変更することがありますのでご了承下さい

サービス拠点一覧

	住　　所	電話番号	ＦＡＸ番号
■東京支店	**〒108-0075 東京都港区港南 2 丁目 13 番 31 号 品川 NSS ビル 8 階**	**03(5479)5522**	**03(5479)5523**
●東北営業所	〒983-0025 宮城県仙台市宮城野区福田町南 1-2-45-101	022(387)1245	022(387)1246
●東関東営業所	〒284-0001 千葉県四街道市大日 931-3	043(424)3137	043(424)3138
●北関東営業所	〒350-2211 埼玉県鶴ヶ島市脚折町 1-2-15	049(286)5770	049(286)5785
●関東ＬＣ	〒226-0025 神奈川県横浜市緑区十日市場 871-8	045(985)7616	045(985)7617

■東海支店	**〒461-0011 愛知県名古屋市東区白壁 3 丁目 12 番 13 号 中産連ビル　新館 5 階**	**052-979-8535**	**052(979)8536**
●静岡営業所	〒426-0034 静岡県藤枝市駅前 3-13-29	054(644)8788	054(644)8774
●北陸営業所	〒921-8002 石川県金沢市玉鉾 5-17	076(291)8537	076(291)9116

■大阪支店	**〒577-0013 大阪府東大阪市長田中 1-3-5**	**06(6789)2216**	**06(6789)2219**
●京都営業所	〒612-8413 京都府京都市伏見区竹田三ッ杭町 30-2	075(642)6766	075(642)6680
●神戸営業所	〒650-0032 兵庫県神戸市中央区伊藤町 121 番地 神戸伊藤町ビル 2 階	078(335)2910	078(335)2911

■九州支店	**〒812-0893 福岡県福岡市博多区那珂 1-1-12**	**092(451)8652**	**092(475)9284**

ホームページ http://www.pressio.co.jp
発売元　株式会社プレッシオ
製造元　株式会社プレッシオ
版数　第 10 版　2010 年 09 月 06 日

《納品時設置方法》

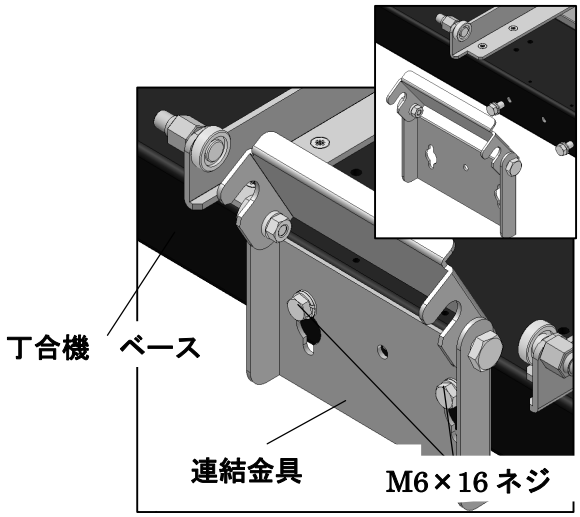
アクトアップ接続方法

○ 連結金具の取付け方

[取付手順]

１,丁合機のベースに M6×16 ネジ２本を仮止めして下さい。

２,ネジ部を連結金具に通して 図の位置で固定して下さい。



○ 光通信基板の取付、接続手順について（右仕様）

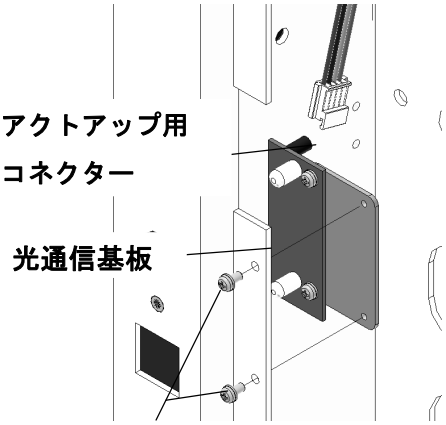
ZS シリーズ/EX に取付の場合

[取付手順]

１,丁合機の右側扉を外して下さい。

２,前側下部分のアクトアップ用コネクターと 光通信基板のコネクターを接続して下さい。

３,光通信基板を M3×6 ネジで取付けて下さい。



通信基板はⅢ型用とⅣ型用では違います。
必ず予備品の通信基板を使用して下さい。
Ⅲ型使用時の黒シールが表面にある場合は
必ず剥がして下さい。（通信誤動作になります。）

EX-Plus に取付の場合

[取付手順]

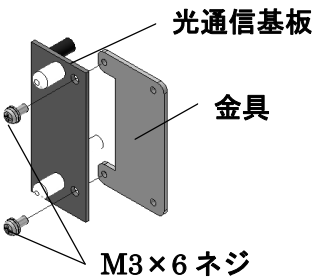
１,丁合機の右側扉を外して下さい。

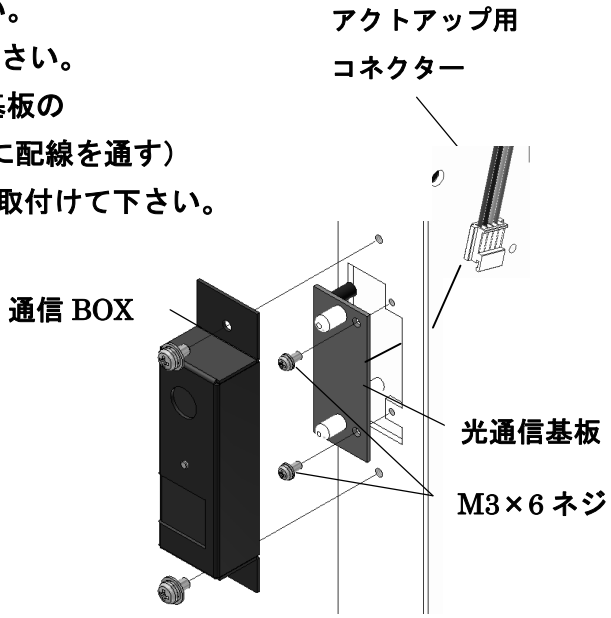
２，金具から通信基板を取り外して下さい。

３，通信 BOX を丁合機から取り外して下さい。

４，アクトアップ用コネクターと光通信基板の コネクターを接続して下さい。（角穴に配線を通す）

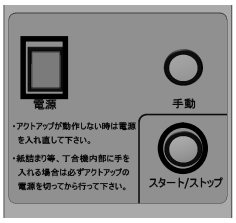
５，取り外した通信基板を M3×6 ネジで取付けて下さい。



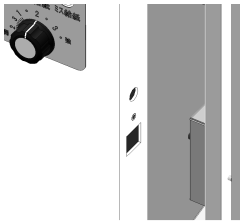


○ 光通信 BOX(アクトアップ側)調整方法について

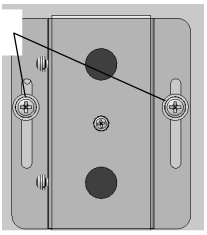
アクトアップを接続した際に電源 ON 時にスタートストップスイッチが点滅を続ける場合はアクトアップと丁合機の光通信部の位置関係を確認して下さい。



・電源 ON 時にスタートストップスイッチ点滅



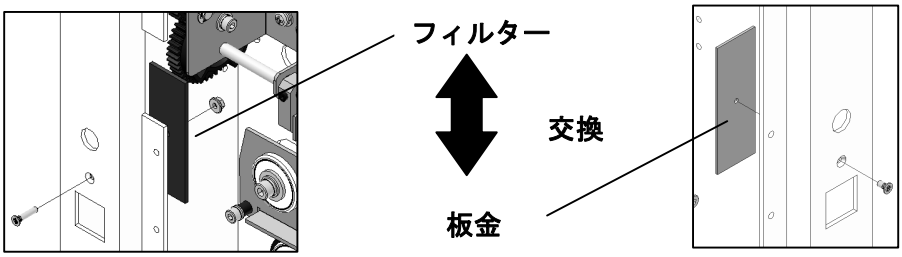
・光通信部の穴位置が平行になっているか確認



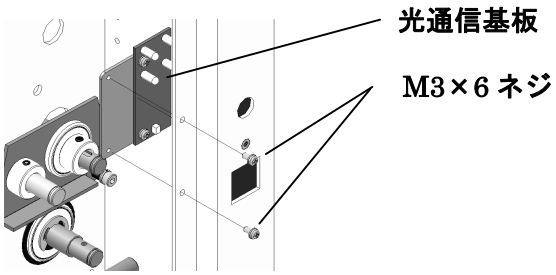
・ M4×8 ネジ（2 ヶ所）緩めて高さ調整して下さい

○ 光通信基板の取付、接続手順について（左仕様）

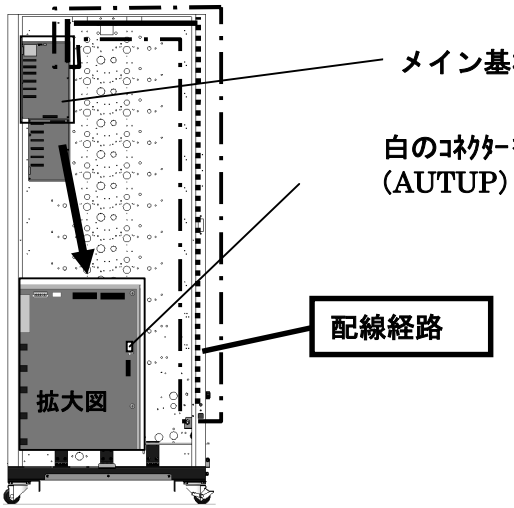
1,丁合機の左右の扉を外して、右前側面に取り付いているフィルターと左前側面の板金を交換して取付けて下さい。



2,左前側面に光通信基板を取付けて下さい。



3,ｱｸﾄｱｯﾌﾟ用ﾊｰﾈｽ（左仕様）をﾒｲﾝ基板と通信基板に接続して下さい。
配線は駆動部に干渉しないように注意して下さい。



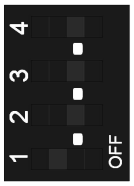
《動作設定変更方法》

メイン基板設定方法

アクトアップメイン基板部 DIP　SW 設定によって動作選択が可能です。
DIP　SW 設定後に動作させる場合は必ず電源を切ってから行って下さい.
（電源を一度 OFF にしなければ設定は変更されません）

出荷時は全て OFF です。

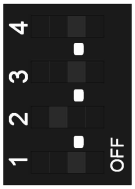
① 丁合機がエラー停止（ミス、ジャム）で停止時にアクトアップを自動動作させたくない場合　　DIP　SW の１番を ON にして下さい。



丁合機停止後の動作

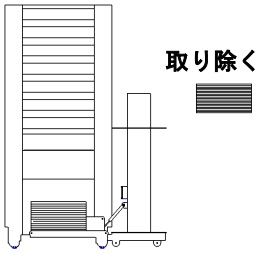
	ON の場合	OFF の場合
ミス、ジャム停止時	自動動作しない	自動動作する
ホッパー満載時	自動動作する	自動動作する

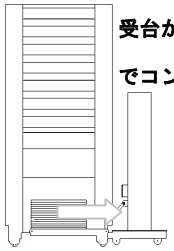
② 受台、コンベアー共にチラシ積載で停止後、受台チラシを取り除いた後、自動でコンベアー上のチラシを昇降させたい場合　　DIP　SW の２番を ON にして下さい。



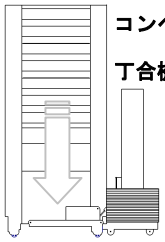
受台、コンベアー共にチラシ積載後の動作

	ON の場合	OFF の場合
ミス、ジャム停止時	ｺﾝﾍﾞｱｰ自動動作する	ｺﾝﾍﾞｱｰ自動動作しない
ホッパー満載時	ｺﾝﾍﾞｱｰ自動動作する 丁合機自動ｽﾀｰﾄする	ｺﾝﾍﾞｱｰ自動動作しない





●コンベアー上のチラシが満載の場合。



③ 受台上昇高さを変更したい場合
メイン基板部ダイヤル SW を回すことで上昇高さが変更されます。

ダイヤル値	6	7	8	9	A	B
動作時間	680	700	720	740	760	780

出荷時の設定は９です。